防火区画貫通配管評定マーク申し込み方法

防火区画貫通配管評定マーク（ＦＥＳＣマーク）の申し込み方法は、次のとおりです。

１．必要書類等

１）評定マーク交付申込書

注１） 申込者は、建築物の防火区画貫通工事を行った施工者（液化石油ガス設備士であり、かつ、配管用フレキ管講習修了者等をいう。以下同じ。）又は施工者を雇用する工事事業者とします。

注２） 申込書の様式は、別添「評定マーク交付申込書」のとおり。

２）返信用封筒（評定マークの送付先を記入し、切手を貼付したもの）

３）貫通工事箇所の施工後の写真

認定番号毎に貫通部の写真各１枚。

注） ＫＫ１９－０６０号（床）とＫＫ１９－０６１号（壁）は、施工方法が同じ場合であれば、いずれかの写真１枚で良い。

４）手数料　１枚　　３５円（消費税別、小数点以下四捨五入）

注） 手数料は、上記１）～ ３）とともに現金書留で送付して下さい。

※　申請後（書類到着後）、最大１０日程度かかる場合がございますので、ご了承ください。

２．申込先

一般社団法人 日本エルピーガス供給機器工業会

〒１０５－０００４　　東京都港区新橋５－２０－４　新虎サウスビル３Ｆ

ＴＥＬ：０３－５７７７－１９７４　　ＦＡＸ：０３－５７７７－１９８５

３．評定マークの送付

申し込みの内容が適切であると確認され次第、次の評定マークを送付します。

直径　：φ15㎜

下地　：銀色

文字　：赤色

（参考）防火区画貫通配管評定マーク（ＦＥＳＣマーク）の適用条件

貫通部及び壁厚、材質等によって使用する評定番号が異なるため、下表を参考に選択してください。

貫通部	適用条件（判断基準）		壁・床の材質			認定番号（ＰＳ０６０）	評定番号（ＫＫ）
			コ※	Ａ※	中※		
床	すべての床		○	×	×	ＦＬ－９４３７	**１９－０６０号**
壁	複数の管が貫通する場合	すべての壁	○	×	×	ＷＬ－９４３８	**１９－０６１号**
	１本の管が貫通する場合	壁厚100㎜以上で開口部の直径が60㎜を超える壁	○	×	×	ＷＬ－９４３８	**１９－０６１号**
		壁厚89㎜以上で開口部の直径が60㎜以下の壁	×	×	○	ＷＬ－０５４６	**２３－０１９号**
		壁厚75㎜以上で開口部の直径が60㎜以下の壁	○	○	×	ＷＬ－０５４７	**２３－０２０号**

注）評定番号を選択する一時的な条件であり、施工時にはさらに細かな条件があるため注意してください。
※　コ＝コンクリート、Ａ＝ＡＬＣ（軽量気泡コンクリート）、中＝中空壁（材質としては石膏ボード）

評定マーク交付申込書

一般社団法人 日本エルピーガス供給機器工業会　殿

氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名

氏名　　印

住所

（TEL）

防火区画貫通工事を施工したフレキ管施工者の氏名及び同修了証番号	氏　　名 修了証番号

防火区画を貫通する工事を施工した場所及び建築物の名称等	防火区画を貫通するフレキ管の本数等 （評定マークの申込み枚数）
①建築物の名称 ②建築物の所在地 ③建築物の概要 （構　造） （階　数） （部屋数） （施工年月日）	①防火区画を貫通するフレキ管の口径 ②防火区画貫通部に施工するフレキ管の本数 （貫通部数×フレキ管の施工本数） ③評定マークの申込枚数

貫通部	評定番号	申し込み枚数
床	KK19-060号	枚
壁	KK19-061号	枚
	KK23-019号	枚
	KK23-020号	枚
合　計		**枚**

【金　額】@35円×合計枚数×1.1
（税込み、小数点以下四捨五入）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿円

④使用したフレキ管のメーカ名

注１　施工方法ごとに貫通施工部分の写真を添付すること。
注２　一般ガス事業者の行う配管用フレキ管講習を修了し高圧ガス保安協会の登録を受けた者は、修了証番号の欄に登録番号を記載すること。
注３　防火区画貫通部に施工するフレキ管の本数は、貫通部の数にフレキ管の施工本数を乗じた数とする。（施工本数が貫通部により異なる場合は、それぞれの貫通部を通過したフレキ管の総数とする。）
注４　評定マークの申込枚数は、認定番号ごとに記入する。（③の申込枚数の合計は、②と同じになります。）